2022 年 10 月 23 日
ANEC 事務局

日本原燃株式会社・再処理事業所及び濃縮・埋設事業所施設、電源開発・大間原子力建設所並びに量子科学技術研究開発機構（QST）・量子エネルギー部門・六ヶ所研究所施設見学会について

1. 概要

日本の核燃料サイクル事業に関する知見を深め、原子力産業の将来について考える機会を設けるため、日本原燃株式会社における再処理工場及び低レベル放射性廃棄物埋設センター・放射性廃棄物処理施設（青森県六ヶ所村）を見学します。同施設の専門家による原子燃料サイクル及びこれら施設についての講義を受講し、意見交換を行います。

原子力発電所の構造に関する知見を深め、その機能を理解するため、建設中の電源開発・大間原子力建設所を見学します。同施設の技術系職員による説明を受け、意見交換を行います。

核融合炉開発に関する知見を深め、その研究・開発の状況を理解するため、QST・六ヶ所研究所の施設・装置を見学します。同施設の研究者・技術者による説明を受け、意見交換を行います。

2. 日時

令和 4 年 11 月 21 日（月）7時 30 分（八戸駅）～11 月 22 日 18 時 30 分（八戸駅）

日本原燃株式会社・再処理事業所及び濃縮埋設事業所（11 月 21 日 9 時 30 分～16 時）

電源開発・大間原子力建設所（11 月 22 日 8 時 50 分～12 時 30 分）

量子科学技術研究開発機構（QST）・量子エネルギー部門・六ヶ所研究所

（11 月 22 日 15 時～17 時）

3. 見学・実習場所

日本原燃株式会社・再処理事業所及び濃縮埋設事業所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮

TEL: 0175-71-2000(代表)

https://www.jnfl.co.jp/ja/

電源開発株式会社・大間原子力建設所

青森県下北郡大間町大字奥戸(おこっぺ)字小奥戸 281 番地

Tel 0175-37-2125（代表）

https://www.jpower.co.jp/bs/nuclear/oma/about.html

量子科学技術研究開発機構（QST）・量子エネルギー部門・六ヶ所研究所
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字表舘 2-166
Tel 0175-71-6500（代表）
https://www.qst.go.jp/site/rokkasyo/

なお、見学に際しては、八戸駅よりバスにて送迎します。

4. 旅程

旅程詳細は添付 1 を参照のこと。

集合日時：11 月 21 日（月）7 時 30 分
集合場所：八戸駅西口

到着予定日時：11 月 22 日（火）19 時
到着場所：八戸駅西口

緊急連絡先
中島 宏 090-8844-3112

5. 宿泊

・遠方より来られる方は、当日は朝が早いので、前の晩は八戸市内に宿泊してください。その場合、各自で宿を確保してください。
・11 月 21 日の宿は、むつ市に確保してあります。

むつパークホテル（19 名）
電話：0175-22-0089
https://www.mutsuparkhotel.co.jp/
1 泊朝食付き：7040 円

はねやホテル（6 名）
電話：0175-22-8445
https://www.haneyahotel.com/
1 泊朝食付き：7100 円

・実習終了後、同日中に帰宅できない場合、その晩の宿泊が可能です。その旨、事務局まで連絡ください。

6. 旅費

・所定の交通費、宿泊費（9800 円/日）、日当（2200 円/日）を、後日、指定の口座に振り込みます。指定口座をご連絡ください。

・昼食代 1000 円を集めますので、現金を用意してください。

・旅費支給には、債主登録が必要です。北海道大学における債主登録申請書を、できるだけ早く、ANEC 事務局に送ってください。なお、既に行っている方は、無視してください。（ANEC 事務局メールアドレス：anecoffice@eng.hokudai.ac.jp）

・11 月 20 日（22 日中に帰宅できない場合は、22 日も）の**宿泊ホテル名を、11 月 7 日（月）までに ANEC 事務局まで提出**してください。（全員）

・北海道から航空機を使用する場合、11 月 7 日（月）までに、旅行行程表及び航空機領収書を ANEC 事務局に提出してください。本州内での航空機の使用は、電車運賃より安い場合のみ認められます。現在居住地との行き返りにおいて、他の所要で経路を外れることは、原則として、認められません。

・これらが守られない場合は、旅費が支給できません。

7. 事前学習

実習に参加する前に、下記の学習資料により事前学習をしてください。その際、興味のある点、質問事項を2～3点あげて、ANEC 事務局に回答してください。締め切りを 11 月 14 日（月）とします。

＃07「核燃料サイクル工学」

▶ 核燃料サイクル概論I 総論（小崎完）
▶ 核燃料サイクル概論II ウラン濃縮（星野剛）
▶ 核燃料サイクル概論III 使用済燃料の再処理等（山田立哉）

8. 注意事項

・体温が 37.5 度以上ある、味覚を失った等、**体調不良の場合は、直ちに連絡してください。**交通機関、宿など予約をしている場合は、キャンセルしてください。キャンセル料が発生する場合は、後日、領収書とともに、事務局に請求してください。

・実習前2週間に発熱等あった場合には実習参加を自粛してください。

・感染対策のための除菌等はこまめに行ってください。

・日本原燃株式会社見学にあたっての諸注意事項を遵守してください。

9. 実習修了証について

・実習終了後、実習修了証を全員に発行します。

10. 事前アンケート

事前アンケートに協力をお願いします。下記 QR コードをスマートホンで読み取って、11 月 14 日（月）までに回答してください。

なお、実習終了後にも、本実習の効果を見るために、事後アンケートを行いますので、併せて協力をお願いします。

以上

2022 年 10 月 23 日
ANEC 事務局

添付 1

旅程詳細

11 月 21 日（月）

7:30　八戸駅発

9 時 30 分：日本原燃到着

日本原燃概要及び核燃サイクル概要説明：0.5 時間

展示館：1 時間

見学：1 時間

昼食：1 時間

見学：3 時間

・燃料濃縮工場の外観見学

・低レベル放射性廃棄物埋設地及び放射性廃棄物中深度処分調査坑見学

・ガラス固化技術開発施設、技術開発研究所見学

・再処理安全対策工事現場において、主排気筒　竜巻対策工事、再処理本体用安全冷却設備新設工事及び新緊急時対策所建設現場見学

・高レベル放射性廃棄物管理施設見学

職員との懇談：1 時間

17 時出発

18:00　むつパークホテル、若しくは、はねやホテル着

11 月 22 日（火）

7:20　むつパークホテル、若しくは、はねやホテル発

（バス会社から連絡があり、土砂崩れの影響により 90 分程度かかりそうだとのこと。）

8:50　大間原子力建設所着

9:00～9:40　大間原子力の概要説明

9:40～9:50　休憩、着替え

（現場見学のため、当社で用意した上下作業服、安全長靴に着替えてもらいます）

9:50～11:10　現場見学（ヤード、運転シミュレーター、原子炉建屋内）

11:10～11:20　休憩、着替え

11:20～11:50　建設所職員との懇談・質疑

11:50～12:30　昼食

12:30　出発

15:00　QST・六ケ所研究所着

2022 年 10 月 23 日
ANEC 事務局

15：00～15：20（20） 概要説明（REC ルーム）
（20 分）：挨拶＋ビデオ
15:20～15:30（10） LIPAc 遠隔制御室
15:30～15:40（10） スパコン
15:45～16:00（15） IFMIF 加速器施設
16:05～16:20（15） 原型炉 R&D 棟
16:25～16:40（15） ブランケット工学試験棟
16:45～17:30（45） 意見交換
17:30 QST・六ケ所研究所発
19:00 八戸駅着
解散

以上